

みやざき臨海公園建設工事

受賞機関 宮崎県中部港湾事務所

はじめに

「みやざき臨海公園」は“日本3大荒波”で知られる日向灘に建設された海浜公園であり、南側の「サンマリーナ宮崎」と北側の「サンビーチ ーツ葉」を総称した名称である。当該公園は、“宮崎・日南海岸リゾート構想”の一環として、また、県央の海洋性レクリエーション基地として位置づけられており、国際海浜リゾートゾーンの諸施設と調和のとれた空間を創出できるよう施設整備を行った。

事業概要

港湾名：重要港湾 宮崎港

事業期間：昭和63年度～平成13年度

事業費：30,000百万円

事業の特徴

「みやざき臨海公園」は“景観形成モデル地区”に指定されており、有識者や専門家からなる「宮崎港景観形成モデル事業計画策定委員会」を設立し、景観に配慮した施設整備の検討を行った。

また、人工海浜においても波浪条件が非常に厳しい場所でのビーチ整備であるため、委員会を設立し、水理模型実験やシミュレーション等を併用し、施設の平面配置計画・海浜の安定性の検討、さらにCGIによる景観設計等を含めた検討を行った。これによる様々なアドバイスをもとに、“潤いと賑わいのある空間の創出”を念頭に置き事業を進めた。



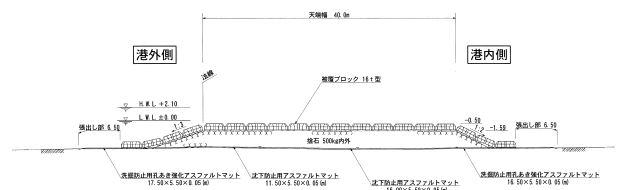
みやざき臨海公園全景



サンマリーナ宮崎係留状況



サンビーチ ーツ葉遊泳状況



「サンマリーナ宮崎」は、陸上保管・水上係留を含め最終的には400隻のヨット・モーターボート・ディンギーヨットを収容することが可能である。敷地内には他にレクリエーションや散策が楽しめる多目的の広場や緑地、魚釣りも可能な多目的護岸も整備した。マリーナ敷地の埋立はほとんどを浚渫土砂で賄い、広場や緑地等の造成についても、他工事との連携をとり、陸上残土を効率的に受け入れ、コスト縮減を図ることができた。

「サンビーチ ーツ葉」は、海水浴やマリンレジャーの利用を主な目的とした人工海浜で、「ビーチ利用促進モデル地区制度」の第1号指定を受け、隣接するマリーナと一体化するよう景観面への配慮を行った。具体的手法については、突堤整備に使用する方塊ブロックに自然石を埋め込んだ化粧方塊の採用、外海からの長周期波浪を低減させる幅広潜堤、また、“南国宮崎”にふさわしい景観創出のため、天然石張りを使用した階段護岸、さらに白色系の砂を用いて養浜を実施した。

今後は、「みやざき臨海公園」が海洋性レクリエーションの拠点として、県内外の皆様に広く親しまれ利用されるとともに、宮崎の新たなシンボルとなることを期待したい。